

<令和5年度将棋同好会活動報告第四報>

令和5年8月4日

将棋同好会世話人

小黒

(令和5年6月26日)

本日の参加者は小黒、橋本、出井の3名

○小黒が橋本の歩取り、出井の四間飛車を連破、5月度に続いて好調を維持している。

○橋本-出井戦は時間が無く、実施できなかった。せっかく購入頂いた対局時計だが、3名とも未だ時間制での対局を実施する気になっていない。メンバーが増え、対外試合参加まで活動範囲が広がれば制限時間制の対局（ほとんどの場合、持ち時間が切れれば最後は30秒将棋になる）に慣れておく必要があるが、今は3名ともじっくり時間を使って最善手を目指す姿勢で練習中。

○7月度（7月31日）は活動後に懇親会の予定を合意。

(令和5年7月31日)

本日も参加者は小黒、橋本、出井の3名。

○小黒-橋本戦 橋本の○

相腰掛銀模様の序盤から、後半直後の小黒からの端攻めが決まったかに見えたが、指し過ぎがあったようで逆に橋本の小黒玉頭への逆襲が早く、橋本の勝ちとなった。攻め一方では勝てない。「タメ」が必要と感じた。

○橋本-出井戦 出井の○

出井の角交換型振り飛車（4間から向い飛車への変化）、橋本は矢倉模様で対抗。中盤以降、出井の攻勢を橋本がうまく受け流し優勢に立った後、大きく差をつけたが、出井のしつこい受けに手を焼き、有効な攻めを見いだせずいつのまにか出井の攻めが橋本玉頭に迫り逆転していた。

橋本の出井戦での負け方はこのパターンが多い。序盤の圧倒的優位が生かされない。

○小黒-出井戦 小黒の○

先手出井の中飛車。中盤の混戦から一步小黒が先行したかに思われたが、出井の逆襲手順を見逃しており、即詰めに討ち取られたかに思われたが、幸運にも危うく難を逃れて居た。逆に、これに気づき受けにまわっていたとしたら勝てていなかった可能性が高い。

○事後、簡単に懇親会実施。

(次回は8月28日 最終月曜日)

<プロ将棋界同行>

○出口六段は順位戦 C1 組で6-8月で2勝1敗。B2組への昇級には残り7試合全勝が必須。それでも順位によっては残留の可能性もある。現在の順位はC1の3位。名人位挑戦にはこんなところでグズグズしてはいられない。まだまだ先にはB2,B1,A級優勝が必要で長い道のりがある。